

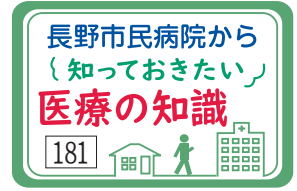


西村 秀紀

乳がんは、女性のが
んの中で最も多いがん
です。15年前には生涯
のうち20人に1人が
かかるといわれていま
したが、今では9〜10
人に1人がかかるとさ
れています。

治療の基本は手術

乳がんの治療は、内



臓や骨などへの遠隔転
移がある場合を除いて
手術が基本です。乳房
全切除術、または乳房
部分切除術（乳房温存
術）を行い、がんを取
り除きます。

乳房全切除術では、
形成外科の協力で乳房
再建術を行うこともで
きます。乳房温存術で
は放射線療法を追加す
ることで、残した乳房
内の再発率が約3%に
抑えられます。なお、
乳がんが治癒するかと
うかは遠隔転移が起こ
るかどうかに左右され
手術法による差はあ
りません。

以前は腋のリンパ節

~~~~~

上席副院長、診療部乳  
腺外科部長、臨床腫瘍  
科部長 〓 専門は乳腺

## 約10人に1人 女性の最多のがん

### 乳がん



を同時に切除する「腋  
窩リンパ節郭清」がよ  
く行われていました。

しかし現在では、手術  
中の迅速診断の結果、  
転移がないか、あつて  
も微小な場合は郭清を  
行いません。郭清に伴  
うリンパ浮腫（手のむ

くみ）ができるだけ起  
こらないように努めて  
います。

リンパ節転移が4個  
以上あれば手術法を問  
わず首（鎖骨上）へ、そ  
して乳房全切除術を行  
った場合には切除部  
（胸壁）へ放射線療法を

行っています。

### 進歩する薬物療法

ホルモン剤を使う内  
分泌療法、抗がん剤を  
使う化学療法、分子標  
的剤を使う分子標的療  
法は、薬物療法と呼ば  
れます。新薬が続々と  
登場し、術後の遠隔転  
移を防ぐため積極的に  
行われています。

乳がんのうち、遠隔  
転移を起こす可能性の  
ある浸潤がんでは、サ  
ブタイプによつてどん  
な薬物療法を行うかを  
判断します。サブタイ  
プとは、採取したがん  
組織から「エストロゲ  
ン受容体」と「HER  
2」の二つを調べ、そ

れぞれが陽性であるか  
陰性であるか、その組  
み合わせがどうである  
かで判定します。サブ  
タイプや転移の状況に  
よつては、術後の10年  
間、薬の内服を続ける  
こともあります。受容  
体陰性あるいはHER  
2陽性では術前薬物療  
法が推奨され、半数で  
がんが消失します。

がんの治療に最も重  
要なのは、早期発見で  
す。一昨年から新型コ  
ロナの感染拡大で、受  
診控えやがん検診控え  
が起きていると警鐘が  
鳴らされています。乳  
房のしこりなどに気付  
いたらすぐに受診し、  
また利用できる検診は  
積極的に受けましょ  
う。